

学校だより

大田区立大森第八中学校

令和5年1月10日 第9号

「逃げる」と「挑む」

校長 保谷 満

2023年、新年が明けました。今年もよろしくお願いいたします。

年末年始のニュースを見ていると「3年ぶりに行動制限のない正月になった」など、何かと「3年ぶり」というキーワードが出てきていました。

それほど、私たちの3年前とその後の生活に違いがあったのでしょうか。

私のように半世紀以上も生きてきた人間にとっては、ほんの3年間でしかないのですが、小中学校という一生一度の義務教育の多感な思春期を過ごしている皆さんにとっての3年間はとてつもなく大きく、長いのではないのでしょうか。

その3年間で惰性で過ごすか、課題をもって前向きに過ごすかで大きな違いが出てきます。3年後の自分を想像してみてください。誰もが3年後の自分については確信が持てないことも平等ですが、願望、展望、希望をもって毎日を積みかさねて過ごすことでしか夢や目標を実現できないことも平等です。

毎年、1年間の世相を表す漢字が暮れに発表され、昨年はロシアのウクライナ侵攻や物価高騰、ワールドカップ開催などから「戦」が選ばれました。今年、皆さんは年頭に当たりどのような漢字を当てはめてみたいですか。

「挑」と「逃」は似た字ですが意味が全く逆になっています。もともとのつくりの「兆」は太古の昔、亀の甲羅や獣骨を焼いてできた穴や裂け目から占いをしたもので、骨が割れて離れることがやがて物事の前ぶれを表す意味として扱われるようになったそうです。

「逃」のへんは足や道を表すものなので、まさに逃げる、立ち去るという意味です。一方、「挑」のへんは手を表します。割れたものを手でくっつける、すなわち自分で自分の運命を行動や努力によって変えていくという意味なのではないかという説があります。

目標をもって結果に向かい、兆しを感じながら、背を向けずに何度でも立ち向かっていくことで自分の思いが達成されます。

一見、平和な世の中ですが、自分の身は自分で守るということは昔も今も必須です。この3ヶ月で新型コロナウイルス感染者数も増え、インフルエンザ流行の兆候も出てきていますから過信することなく、今年も自分自身に挑戦する日々を歩んで欲しいと思います。

1月の主な予定

- | | |
|------------------|----------------------|
| 7日(土) 新入生標準服採寸日 | 21日(土) 連合書写展～27日(金) |
| 10日(火) 始業式 | 23日(月) 生徒朝会、学校公開始 |
| 12日(木) 避難訓練 | 26日(木) 都立推薦入試～27日(金) |
| 16日(月) 全校朝礼、安全指導 | 28日(土) 道徳授業公開日、公開終 |
| 18日(水) 小中一貫教育の日 | 31日(火) 連合技家展始～2/7(火) |
| 20日(金) 英検 | |

今月のきらめく八中生

大田区連合美術展 (11/5~11/11) 出品者 43名



大田区立小・中学校人権啓発作品展 (12/2~12/9) 出品者 各2名

ポスター
習字

標語



大森納税貯蓄組合連合会 中学生の「税についての作文」

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

大森間税会会長賞

大森納税貯蓄組合連合会銀賞



令和4年度全日本歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール 佳作

第44回少年の主張全国大会

努力賞

卓球部 大田区新人大会 団体の部女子3位 男子4位 (共に都大会出場)

都新人大会 個人の部

(共にベスト128)